

令和4年第4回総務文教常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和4年4月15日（金曜日）		開会	9:55		会議場所		別海町議会 委員会室2・3	
				閉会	12:19					
委員の出欠		1 番	横田 保江	出席	6 番	大内 省吾	欠席	7 番	木嶋 悦寛	出席
		10 番	小林 敏之	出席	14 番	佐藤 初雄	出席			
出席説明員	総務部	総務部長		総務部次長兼総務課長		総合政策課長		ふるさと応援・情報化推進室長		
		浦山 吉人	出席	伊藤 輝幸	出席	寺尾真太郎	出席	松本 博史	出席	
		財政課長		税務課長		防災交通課長		尾岱沼支所長		
		角川 具哉	出席	竹中 利哉	出席	麻郷地 聡	出席	大坂 恒夫	出席	
		西春別支所長		総務課主幹		ふるさと応援・情報化推進室長代理		総合政策課長主幹		
		小村 茂	出席	佐藤 亮	出席	山田 哲哉	出席	橋本 達也	欠席	
		防災交通課主幹		総務課主査		総合政策課主査		財政課主査		
		深川 淳一	欠席	武田 聖士	出席	金澤 亮太	出席	佐藤 貴也	出席	
		財政課主査		税務課主査		税務課主査		防災交通課主査		
		戸野 晶雄	欠席	伊藤 武史	欠席	高橋 克彦	欠席	寺澤 淳司	欠席	
		防災交通課主査		西春別支所主査						
		相馬 儀彰	欠席	佐藤 政士	欠席					
	選挙管理 委員会	書記長		書記						
		伊藤 輝幸	出席	佐藤 亮	出席					
	別海 消防署	別海消防署長		別海消防署副署長		別海消防署副署長兼予防課長		別海消防署警防課長		
		山田 勝人	欠席	山桑 貴光	欠席	西塚 隆幸	欠席	太田 裕司	欠席	
	教育 委員会	教育部長		教育部次長兼学務・スポーツ課長		生涯学習センター長兼中央公民館長		指導主幹		
		山田 一志	出席	宮本 栄一	出席	新堀 光行	出席	相澤 要	欠席	
		指導主幹		指導参事		学校教育課長兼学校給食センター長		生涯学習課長兼中央公民館副館長		
		稲村 和典	欠席	吉光寺 勝己	出席	池田 卓也	出席	福原 義人	出席	
		西公民館長		東公民館長		図書館長・郷土資料館長他		学務・スポーツ課主幹		
		小村 茂	出席	大坂 恒夫	出席	堺 啓	出席	斎藤 陽	出席	
		学務・スポーツ課主幹		学校教育課主幹		西公民館副館長		東公民館副館長		
		恒川 敦史	出席	堀込 美穂	出席	木戸口 誠	欠席	立澤 雅彦	欠席	
		郷土資料館副館長		郷土資料館主幹		学務・スポーツ課主査		学校教育課主査		
		石渡 一人	出席	戸田 博史	出席	大山 晋作	出席	高津 寛人	出席	
		生涯学習課主査他		学校給食センター主査		図書館主査		A L T		
		上杉 大洋	出席	平下 奈津子	欠席	吉田 美奈子	出席	ゴヴェンター・クレヴァニン・イブシエン		出席
委員外の出席		議長	西原 浩			合計		1名		
事務局職員		局長	干場 富夫	主幹		入田 浩明	合計		2名	
傍聴者数		一般	0名	報道関係者		0名	合計		0名	

令和4年第4回総務文教常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者			会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長	7番	木嶋	9:55 開会 出席委員4名、欠席委員1名、委員外1名、会期1日 挨拶 【総務部所管事務調査】 挨拶及び概要説明 ・近年頻発する大規模災害や予測をされる災害に迅速に対処するため、防災危機管理体制における専門的な知識と災害対応などに豊富な経験を有した防災監を4月1日付で任用したことに伴い、防災監の経歴、業務内容について説明。 ・総務部職員紹介 議事1 所管事務調査について (1) 新型コロナウイルス感染症対策について ・資料により説明 4月に入り別海町においても陽性者が増えている状況にある。 小児接種(5～11歳)の4月10日現在の接種状況(対象871人) 1回目128人、接種率14.7% 2回目43人、接種率4.9% 現在、5～11歳の陽性者も増えてきているということで、今後、更に接種について周知していきたいと考えている。 町立別海病院については、4月6日以降別海病院の感染者状況のことを少し詳細に公表するようにした。 これについては、今までは保健所が中心になって検査を行って要請者を確認するというケースだったが、オミクロン株の発生とともに、学校や事業所内での感染というものについては、保健所で関与しないという形で、あくまでもその事業所ごとに陽性者の洗い出し等をするようになり、通常の方が保健所で発見されるという例は極めて少なくなった。 福祉施設の感染であったり、家族内の感染に関しては、保健所が介入して濃厚接触者の洗い出し等を行うが、それ以外については、保健所が関与しなくなったので、町民であつてもほとんどが、別海病院を受診して、別海病院で陽性が確認されるというような方向にシフトしていったので、別海病院にかかって陽性者となる者イコール、大方の町民の数字ということになると判断して、特に4月以降増えてきているという現実に鑑み、このような形で少しわかりやすく病院とも協議の上、公表をする方向にシフトしたものだ。 町立別海病院では、土日も発熱外来を予約制で開設している。 学校等に病院から文書等により周知している。 現在、別海町で広がっている内容については、家族内、転勤、出張等がほとんどであり、町内での感染というのは極めて少なく、高い年齢の方の感染はほとんど確認されていない。 これから3回目の接種が、今、若年齢の方まで接種券が送付されているので、3回目の接種が進むことによって、だんだん収まってくるのではないかと想定しているところ。
委員長	7番	木嶋	
委員	2番	横田	
総務部長		浦山	
委員	2番	横田	
総務部長		浦山	
委員長	7番	木嶋	
委員	2番	横田	
総務部長		浦山	
委員長	7番	木嶋	
総務部長		浦山	
委員長	7番	木嶋	質疑 ・予約制ということだったが、予約方法は電話かネットなのか。 ・発熱外来については、検査体制を整えるために、事前に予約したうえで、病院に電話をかけたうえで受診していただく。 ・陽性者が増えてきて、ワクチン接種業務に対して影響はないのか。 ・病院スタッフについては、負担が大きくなっている。 ワクチンの接種業務については、病院に加え保健センターが中心となって、全職員を総動員で接種業務に当たっている。 スタッフは大変厳しい状況にあるが、何とか乗り切っていきたいと考えている。 (2) 第7次別海町総合計画第4次実施計画について ・資料により説明
委員長	7番	木嶋	
総務部長		寺尾	

令和4年第4回総務文教常任委員会 要点記録

		本資料については、総合計画の体系ごとに事業を掲載している。 主な事業を抜粋して説明する。
委員長	7番 木嶋	質疑
		・自治体情報システム標準化・共通化事業について、もう少し詳細に説明願う。
ふるさと応援・情報化推進室長代理	山田	・国では、地方公共団体が共通かつ統一的な基準に適合する情報システムを利用して処理することが、住民の利便性の向上及び地方公共団体の行政運営の効率化に寄与するとして、児童手当など20の標準化対象事務を定めて、これらの事務に関するシステムについて、国が示す標準化基準に適合するシステムへ移行することとしている。
		このため、本町では、本町を含む28の自治体が共同で開発し利用している、総合行政システム等を国が示す標準化基準に適合するシステムへ移行するための準備を進めるもの。
		これについては、新たに新しいシステムに入れかえるということではなく、現在使用している各種システムを国が示す仕様に適合したシステムに変更するための改修になる。
		移行の期間については、令和7年度までとされており、今後、国から順次各業務の標準仕様が公開されることとなっているので、その仕様に適合したシステムへ改修を進めていく。
		また、国が進めることになった背景については、特別定額給付金の事務と新型コロナワクチン接種の業務と立て続けに国主導で行う政策があったが、各自治体がそれぞれの異なる仕様のシステムを使っているということがある、なかなかスピード感を持って進めることが出来なかったところから、今後、そういったことのないように、国がシステムの仕様を定めることによって、今後、国主導で何か行う場合には、各自治体においてスムーズに対応できることを目指す目的があるとされている。
委員長	7番 木嶋	・自治体についての一番のメリットは。
ふるさと応援・情報化推進室長代理	山田	・システム改修に係る補助金が出るので、補助金を活用し改修を進める。
委員長	7番 木嶋	・直接町民の利益になるようなことは。
ふるさと応援・情報化推進室長代理	山田	・給付金等で言えば、町民から申請をいただいて、審査・給付となっていたが、システムを改修することにより、プッシュ型での支給等が可能となる。
委員長	7番 木嶋	・他に質疑あるか。
委員	一同	・質疑なし
委員長	7番 木嶋	(3) 防災対策の推進について
防災交通課長	麻郷地	・冊子版及びWEB版により説明
委員長	7番 木嶋	・避難ルートは出るのか。
防災交通課長	麻郷地	・避難ルートは各々で決定してもらう。
委員	14番 佐藤	・なかなか理解できない人もいるので、一日も早く理解してもらうようなスケジュールは。
防災交通課長	麻郷地	・海岸地区を中心に始めたいと思っているが、去年も学校から防災教育として講話依頼もあったので、そういう場を活用して周知していきたい。
		高校生については、自主防災組織の大きな役割を果たしてくれるものと考えているので各地区にある防災ハザードマップというものを、気にしていただけるように、高齢者の方から若い子どもたちに周知徹底を図っていききたいと考えている。
委員長	7番 木嶋	・ハザードマップについては、大人用ということですね。
		小学生が見てもわかるようなものを作成する予定は。
防災交通課長	麻郷地	・今のところ作成の予定はない。
		今後、講話があった時には、わかりやすい資料等を作成し対応したい。
		今後、改修する場合は、子ども向けのわかりやすいものを加えることも検討していきたい。
委員長	7番 木嶋	・他に質疑あるか。
委員	一同	・質疑なし
委員長	7番 木嶋	11時04分 休憩
委員長	7番 木嶋	11時12分 再開
		その他(1) 過疎地域の公示について
総合政策課主査	金澤	・資料により説明
		行政執行方針において過疎地域の指定の見通しなどについてお示ししたが、予定とお

令和4年第4回総務文教常任委員会 要点記録

		り4月1日付け国の公示により、本町全域が過疎地域に指定された。 具体的には、令和3年4月に新過疎法が施行され、道内においては148の市町村が過疎地域として指定された。 この法律の施行時点においては、本町は過疎指定の要件を満たしていなかったが、昨年11月に公表された令和2年国勢調査の結果に基づき、新たに過疎指定の要件を満たすこととなったことから、本年4月1日付けで過疎地域とされたもの。 ・昭和55年と令和2年の人口の数を教えてほしい。 ・昭和55年度は1万9,035名、令和2年度は1万4,380名。 なお、これらの人口に外国人も含めたものとなっている。 その他(2) 公共施設等総合管理計画の改訂について ・資料により説明 公共施設等総合管理計画は、平成24年に山梨県で起きたトンネル崩落事故を契機に公共施設やインフラ資産全体の老朽化とその適正な維持管理が全国的な社会問題となったことから、国の各省庁は、これまでの古くなったら新しくするという施設の建てかえではなく、既存の施設を長寿命化していくという方針を示し、さらに総務省では、公共施設等総合管理計画の策定を全ての自治体に要請した。 このような流れを受け、本町では、公共施設等の総合的かつ計画的な関する基本的な考え方をまとめた、別海町公共施設等総合管理計画を平成28年9月に策定している。 その後、総務省において公共施設等総合管理計画の策定指針の改定をした上で、全国の自治体に対し、各個別施設の内容などを踏まえ、令和3年度中に計画の見直しを行うよう要請を行っていること、また、本町としても、当初の計画策定から5年が経過し公共施設等を取り巻く環境も変化していることから、今般、計画の改訂を行ったもの。 計画の主な変更点としては、施設の数や面積等に関する情報を新しく更新したほか、改訂指針により掲載必須項目とされている、基本方針や新たな推計項目などを盛り込み、計画内容の充実を図った。 総務部終了 11:30 暫時休憩
議長	西原	
総合政策課主査	金澤	
委員長	7番 木嶋	
財政課主査	佐藤	
委員長	7番 木嶋	
委員長	7番 木嶋	11:35 再開
		挨拶
		【教育委員会所管事務調査】
教育部長	山田	挨拶、職員紹介
委員長	7番 木嶋	11:45 暫時休憩
委員長	7番 木嶋	11:36 再開
		議事1 所管事務調査について
		(1) 新型コロナウイルス感染症対策について
教育部長	山田	・資料により説明
委員長	7番 木嶋	・他に質疑あるか。
委員	一同	・質疑なし
委員長	7番 木嶋	(2) 第7次別海町総合計画第4次実施計画について
教育部次長	宮本	・学務・スポーツ課分について資料により説明
郷土資料館主幹	戸田	・郷土資料館分について資料により説明
学校教育課長	池田	・学校教育課分について資料により説明
生涯学習課長	福原	・生涯学習課分について資料により説明
中央公民館副館長	福原	・中央公民館分について資料により説明
図書館長兼郷土資料館長他	堺	・図書館分について資料により説明
委員長	7番 木嶋	・他に質疑あるか。
委員	一同	・質疑なし
委員長	7番 木嶋	その他 各施設のオープン状況・行事予定等について
中央公民館副館長	福原	・みなくろの利用状況 56件 421名利用
西公民館長	小村	・西公民館子ども祭りを5月GW明けの土曜日に予定しているが、開催時期の変更を検

令和4年第4回総務文教常任委員会 要点記録

		討している。
東公民館長	大坂	すぎのこ人形劇も開催時期の変更及びオンライン鑑賞も検討中。
図書館長兼郷土資料館長他	堺	・尾岱沼地区こどもまつり4月29日に予定しているが、18日に開催の可否を協議する。
		・閲覧席を撤去し、滞在時間を30分に限定している。
委員長	7番 木嶋	例年、4月末に開催している春の古本市については、中止する。
		・生涯学習センターの現在の入り口に何も表示がなくて非常に入りづらい。
		そのまま入っていいのかわからない状況なので、簡単なものでいいので来館した人にわかりやすいようにしてほしい。
生涯学習センター長兼中央公民館長	新堀	・改善したいと思う。
委員長	7番 木嶋	閉会挨拶
		12:19 閉会